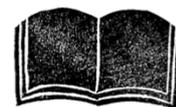


図書館ニュース

宮城県小牛田農林高等
学校図書館
No.9
令和3年11月8日発行



読書のいいところ



2年生大友脩八くんが提出してくれた弁論文「読書のいいところ」の内容がとても良かったので、一部抜粋をして紹介します。

読書のいいところ 一つ目 自分の知らない物、知らない世界を知ることができる

自分の知らない物、知らない世界を知ることができるところ、です。

知らない世界を知れるっていうのは？というと、自分の知らない、もしくは知ろうとすらしな
い世界、ジャンル、それと他人の視点を知れる、ということで、この他人の視点を知ることができ
るとというのが一番大きいです。

読書のいいところ 二つ目 字を読めるようになる

字を読めるようになる、です。何言ってんだとなるかもですが、以外と読めない文字ってゴロ
ゴロしています。漢字っていうのはその一文字二文字に意味がギュッと詰まっているので、それ
が読めないというのはかなり損なんですね。



読書のいいところ 三つ目 知識の増加が加速する

二つ目に関連してしまして、読めない字、知らない字について調べるを繰り返すと、知らない
もの、分からないものについて調べるという習慣がつかます。この習慣がつくと、知識の増加が
加速します。どういうことかと言うと、知らないことを知ろうとするっていうのは新しい世界に
足を一步踏み入れるようなもの、最初に分からないものを調べているとまた分からないものが出
てきて、それについて調べていくと分からないものが出てきて、また…、という感じです。

以上の三つの理由から、本を読むとこんないいことが起こるんだ、と分かってくれたと思いま
す。

これを機に、みなさんに本を読んでもらえれば、いち本の虫として同志が増えて喜ばしく思
います。

新 着 図 書



『続・こころの作文』

著者：謙司

コロナ禍での小学校実践、
高校での実践を通して、自己
表現（綴り方）で子どもの学
びを保障するを問う。



『ヒトは「いじめ」をやめら
れない』

著者：中野信子

世代を問わない「いじめ」
に関して、その回避策を脳科
学の観点から説いていく。



『住まいから問うシェアの未来』

著者：岡部 明子 他

住まいを起点に、シェアを生
きる基盤とする未来に向けた地
殻変動を感知する。



『ひとめでわかる産業図鑑
& 業界地図 改訂新版』

著者：イノウ

業界成長の鍵となる「製品」
や「基礎・先端技術」を理解
でき、それを握る企業を関連
付けて研究できます。

『トットちゃんと訪ねた子どもたち』 田沼武能

『13億人のトイレ 下から見た経済大国インド』 佐藤大介

『ウンコはどこから来て、どこへ行くのか』 湯澤規子

『よくわかる最新音楽の仕組みと科学』 岩宮眞一郎

『数字と科学から読む音楽』 西原稔 安生健

『泣き笑い！アスリート図鑑』 青島健太 監修

『書く習慣』 いしかわゆき

『学習する学校 子ども・教員・親・地域で未来の学びを創造する』 ピーター・M・センゲ

『格差と分断の社会地図』 石井光太

『変な家』 雨穴

『世界史は化学でできている』 左巻健男

『86 -エイティシックス- 7-10』 安里アサト

『フシノカミ 5』 雨川水海

『Dr.STONE 22』 原作：稲垣理一郎 作画：Boichi

『ゴールデンカムイ 27』 野田サトル



図書だより作成に興味はありませんか？

図書だよりを通して学校みんなに伝えたいことや、おすすめの本について語りたい！などあれば司書までお知らせください。図書だよりに掲載します。

また、図書だよりに掲載してほしい内容なども気軽にお知らせください。